

2)シラバス

分野	専門基礎分野 －人体の構造と機能－	対象学年	1
		時期	前期
授業科目	形態機能学 I Structure and Function I	単位	2
		時間	60
		方法	講義
担当教員	非常勤講師		
科目責任者			
授業概要	健康・疾病・傷害に対する観察力、判断力を養うために人間を系統立てて理解し、人体について解剖学的視点から学ぶ。		
目標	<p>人体の解剖を理解する。 人体の様々な仕組みを生理的に理解する。 今田 剛（1～15）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の発生を理解する。 2. 人体を構成する各器官の正常な形態を理解する。 3. 人体を構成する各器官の正常な機能を理解する。 <p>寺澤 崇（16～30） 解剖学は人体を構成している器官の構造を組織、細胞レベルも含め学習する学問であり、器官の部位、相互作用、統合なども形態学的見地から併せて講義を進める。解剖学の知識は、看護技術の習得や各種の病態を理解する上において重要であり医学領域の基礎を成すものである。さらに、医療で用いられる共通用語としての解剖学用語についても解説を加える。</p>		
評価方法	<p>終講試験 この科目は1単位ずつの試験とし、2回試験を行います。 60点未満の場合は、1単位ずつ再試験となります。 科目の成績は、2単位の平均点が科目の評価となります。 筆記試験、出席状況などを総合的に評価し、60点以上を合格とします。</p>		
使用テキスト	<p>今田剛（1～15） 系統看護学講座 専門基礎1 人体の構造と機能(1)解剖生理学 第8版 医学書院 解剖生理学ワークブック 医学書院 新版からだの地図帳 解剖学カラーアトラス（学校準備図書）</p> <p>寺澤崇（16～30） 解剖生理学 人体の構造と機能（1）系統看護学講座 専門基礎1 医学書院 解剖生理学ワークブック 医学書院 解剖学カラーアトラス（学校準備図書）</p>		
参考図書			
メッセージ	<p>今田 剛 看護をする上で不可欠な人体を構成する各器官の正常な形態・機能について学びましょう。 人体模型を使いながら学習を進めます。</p> <p>寺澤 崇 身体各部の器官、組織を見て名称、部位を的確に把握できること、また、逆に名称から器官、組織の部位等を想定できること。解剖学用語、医学用語を覚え慣れること。</p>		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	総論	解剖生理学を学ぶための基礎知識を理解する	1.解剖生理学を学ぶための基礎知識 ・人体とは ・人体の素材としての細胞・組織 ・構造からみた人体	講義	

2	骨・筋肉	骨格と筋について理解する	2.からだの支持と運動（骨と筋） ・骨格とは ・骨の連結 ・骨格筋	講義	
3	骨・筋肉 （体幹）	体幹の骨格と筋について理解する	・体幹の骨格と筋	講義	
4	骨・筋肉 （上肢）	上肢の骨格と筋について理解する	・上肢の骨格と筋	講義	
5	骨・筋肉 （下肢・頭頸部）	下肢から頭頸部の骨格と筋について理解する	・下肢の骨格と筋 ・頭頸部の骨格と筋 ・筋の収縮	講義	
6	呼吸器	呼吸器について理解する	3.呼吸 ・呼吸器の構造（上気道：鼻、咽頭、喉頭、 発声と構音、下気道と肺、胸膜・縦隔）	講義	
7	腎臓	体液の調節と尿の生成について理解する	4.体液の調節と尿の生成 ・腎臓 ・肺尿路 ・体液の調節	講義	
8	生殖器	男性生殖器について理解する	5.生殖・発生のしくみ ・男性生殖器	講義	
9	生殖器	女性生殖器と受精・胎児の発生について理解する	・女性生殖器 ・受精と胎児の発生	講義	
10	内臓機能	内臓機能の調節について理解する	6.内臓機能の調節 ・自律神経による調節 ・内分泌系による調節 ・全身の内分泌腺と内分泌細胞	講義	
11	内臓機能	内臓機能の調節について理解する。	・ホルモン分泌の調節 ・ホルモンによる調節の実際	講義	
12	感覚器	感覚器について理解する	7.情報の受容と処理（感覚器；眼、耳） ・眼の機能と視覚	講義	
13	感覚器	感覚器について理解する	・耳の機能と聴覚・平衡覚	講義	
14	血液	血液について理解する	8血液 ・血液の組成と機能 ・赤血球、白血球、血小板 ・血漿タンパク質と赤血球沈降速度 ・血液の凝固と繊維素溶解 ・血液型	講義	
15			1～14 終講試験		
16	循環器 （心臓・脈管系）	心臓の構造について理解する	1.循環器系（心臓、脈管系） 1)心臓；一般的事項、構造（心室、心房、弁、 内腔）	講義	
17	循環器 （冠動脈・冠静脈）	冠状循環系について理解する	2)心臓；心膜、冠状循環系（冠動脈、冠静脈）、 神経	講義	
18	循環器 （動脈、静脈、 毛細血管）	血管の構造について理解する	3)血管壁の構造（動脈、静脈、毛細血管）	講義	
19	循環器 （動脈系）	肺循環、体循環について理解する	4)肺循環、体循環（動脈系）	講義	
20	循環器 （静脈系）	体循環、胎児循環について理解する	5)体循環（静脈系）、胎児の血液循環と胎盤	講義	

21	循環器 (リンパ系)	リンパ系について理解する	6)リンパ(管)系;リンパ管、リンパ節、 リンパ循環、胸管、脾臓、胸腺	講義	
22	消化器	消化器系について理解する	2.消化器系 7)一般的事項、中空性(管腔性)器官、 実質性器管	講義	
23	消化器	口腔、咽頭、食道、胃について理解する	8)口腔(舌、歯、唾液線)、咽頭、食道、胃	講義	
24	消化器	小腸、大腸について理解する	9)小腸(十二指腸、空腸、回腸)、 大腸(上行・横行・下行・S字結腸、直腸、 肛門)	講義	
25	消化器	肝臓、胆嚢、膵臓について理解する	10)肝臓、胆嚢、膵臓、腹膜、腹膜外器官	講義	
26	神経系	神経系について理解する	3.神経系 11)一般的事項、神経細胞、神経線維、 シナプス(神経接合部、終板)、神経膠細胞	講義	
27	神経系 (中枢神経)	中枢神経系について理解する	12)中枢神経系;脳(脳幹、間脳、小脳、 大脳、髄膜、脳脊髄液の循環)、脊髄	講義	
28	神経系 (末梢神経)	末梢神経系について理解する	13)末梢神経系;脊髄神経(神経叢)、脳神経	講義	
29	神経系 (自律神経)	自律神経系について理解する	14)自律神経系;(交感神経、副交感神経) 特殊感覚(視覚器、平衡・聴覚器、嗅覚器)	講義	
30			終講試験		